



看護技術 ナラティブが教えてくれたこと

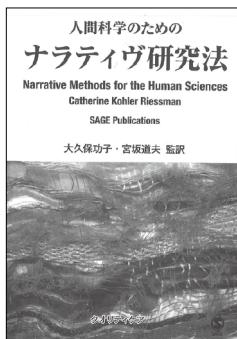
著：吉田みつ子／医学書院
定価：本体 1,600 円＋税／TEL：03-3817-5657

●医療者にとって大事なことは、患者さんが教えてくれる……。高い技術をもつ多くの先人たちが、異口同音に語ってきた。本書もまた、患者・家族や同僚の物語＝ナラティブから学び、そこに生まれた個別の看護技術を、17の「看護技術」論に昇華。ケアしにくい患者さんへのケアの工夫こそが、看護技術を更新する。その醍醐味を看護の道を歩く仲間、そしてこれから歩もうとする人に伝える。看護技術を教える新たな切り口としてもどうぞ。

看護の教育・実践にいかすリフレクション 豊かな看護を拓く鍵

著：田村由美・池西悦子／南江堂
定価：本体 2800 円＋税／TEL：03-3811-7239

●実践を振り返り、得た知見を次の実践に活かすためのリフレクション。振り返りを単に振り返りにとどめず、経験から学び、看護実践の質向上につなげるリフレクションとはどういったものか。本書「理論編」で基礎となる考え方を整理し、「実践編」では、看護行為を意図的に振り返る、reflection-on-actionの学習方法を伝える。教育者、管理者の指導用に、また学習会にも最適のテキスト。



人間科学のための ナラティブ研究法

著：Catherine K. Riessman／監訳：大久保功子・宮坂道夫／クオリティケア
定価：本体 3500 円＋税／TEL：03-3953-0413

●人間を科学する手法としてのナラティブ研究(リサーチ)。その流れは「物語的転回」を源に「研究者と参加者双方の主観性を視野に入れたエスノグラフィー」へと拡張し「解釈的転回」を経て「ナラティブ分析の様々な方法は、方法論上の詳細な吟味が可能になるほどに円熟してきている」(いずれも本文より)。リースマン自身の研究姿勢と同じく、分析法の系統分類の簡潔さと、データの扱いによる文脈依存性への配慮されている。ナラティブ研究法の地平を拓く1冊。

特養ナースの思い

著：戸塚恵子／牧歌舎
定価：本体 2000 円＋税／TEL：03-6423-2271

●特別養護老人ホーム(特養)という「福祉の現場」にいる看護師を研究協力者として、特養における看護職の役割、やりがいや感じている困難などを丁寧に聞き取り、「施設看護」の特性と意義を博士論文にまとめた。同論文に加筆・修正を加え出版された本書は、施設看護師の抱えるジレンマを浮き彫りにしつつ、その解決策として、福祉と医療を複合させた「医療福祉」の道を提唱しようとしている。未来の高齢者ケアのかたちを探ろうとする、いわば静かな意欲作。

